

2017年3月期決算概況（参考資料）

2017年5月10日

ニチハ株式会社  
（コード番号7943、東証・名証第一部）

1. 2017年3月期通期業績

(1) 連結業績 (百万円未満切捨)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 従来予想	2017年3月期 実績	前期比		従来予想比	
				金額	増減率%	金額	増減率%
売上高	111,324	117,000	118,215	6,891	6.2	1,215	1.0
営業利益	8,349	12,800	12,833	4,484	53.7	33	0.3
経常利益	8,212	13,000	13,117	4,905	59.7	117	0.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,373	9,400	9,594	4,220	78.5	194	2.1
中間	15円	21円	21円	6円	—	0円	—
期末	15円	30円	31円	16円	—	1円	—
1株当たり配当金	30円	51円	52円	22円	—	1円	—

(注)従来予想:本年1月31日第3四半期決算発表時の修正予想、ただし中間配当金については実績

(2) 連結業績の説明

① 市場環境等

当社グループ主力製品の窯業系外装材の主要マーケットである新設住宅着工戸数は、マイナス金利導入後の住宅ローン金利低下等を受けて引き続き堅調に推移し、2016年度は全体で974千戸と前年度比5.8%の増加、当社グループ事業との関係が特に強い戸建て住宅に限っても同3.7%の増加となりました。  
これに伴い、同期間の窯業系外装材の業界全体の国内販売数量については、前年度に比し3.9%（JIS規格の改正に伴い2009年度よりJIS規格対象外となった12mm厚製品を含む従来基準）の増加となりました。

② 売上高

国内事業において、主力の窯業系外装材が高付加価値商品の拡販などにより増収となったほか、米国窯業系外装材事業は引き続き好調に推移し、前期比で30%超売上高を伸ばした結果、全体の売上高は1,182億15百万円と前期比68億91百万円（6.2%）の増収となりました。

③ 損益

国内外装材事業が増収と合理化効果やエネルギー単価下落などによるコストダウンから増益となったほか、米国窯業系外装材事業も大幅な増収に伴い増益となり、営業利益は128億33百万円と前期比44億84百万円（53.7%）の増益、経常利益は131億17百万円と同49億5百万円（59.7%）の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は95億94百万円と同42億20百万円（78.5%）の増益となりました。

④ 配当

当期の配当金につきましては、既の実施済の中間配当金 21円に加え、期末配当金は連結ベースの親会社株主に帰属する当期純利益が従来予想の94億円を上回る95億94百万円となったことから、1株当たり予想配当金30円から1円増配し31円を実施する予定であります。これにより当期の年間配当金は、1株当たり52円となる予定であります。

2. 次期2018年3月期の通期業績予想

(1) 連結業績 (百万円未満切捨)

	上期		下期			通期			
	前年同期比		前年同期比			前期比			
	金額	増減率%	金額	増減率%	金額	増減率%			
売上高	57,600	591	1.0	61,400	192	0.3	119,000	784	0.7
営業利益	6,500	308	5.0	7,300	658	9.9	13,800	966	7.5
経常利益	6,600	725	12.3	7,400	156	2.2	14,000	882	6.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,500	399	9.7	5,500	6	0.1	10,000	405	4.2
1株当たり 配当金	27.5円	6.5円	—	27.5円	△3.5円	—	55円	3円	—

(注)通期の想定米ドル為替相場:110円

(2) 連結業績予想の説明

当社グループ主力製品の窯業系外装材の主要マーケットである住宅市場につきましては、国内においては新設住宅着工戸数は減少すると見ております。一方、米国市場においては引き続き堅調に推移すると予想されます。このような状況の下、当社グループでは、国内において市場は縮小するものの、安定した製品供給を背景に高付加価値商品などの一層の拡販によりシェアアップに努めるほか、非住宅市場では新外壁材「ミライア」「メモリア」を中心にさらなる販売戦略の強化を図り、販路拡大に注力いたします。また、海外事業においては、マーケティングを強化しながら新たな販路の開拓などに取り組みます。さらにコスト面では、グループ全体で合理化・コスト削減を強気に推進いたします。

これらを前提として、売上高は 1,190億円と前期比 7億 84百万円(0.7%)の増収を、営業利益は 138億円と前期比 9億66百万円(7.5%)、経常利益は 140億円と同 8億 82百万円(6.7%)、親会社株主に帰属する当期純利益は 100億円と同4億 5百万円(4.2%)のそれぞれ増益を予想しております。

(3) 配当

配当予想につきましては、現時点での通期連結業績予想に基づき、中間・期末配当金ともに各 27.5円の年間55円と前期比 3円の増配を予想しております。

3. 決算関係データ

(1) セグメント別売上高の主要内訳

(百万円未満切捨)

セグメント区分	2016年 3月期 実績	2017年3月期			2018年3月期		
		実績	前期比		予想	前期比	
			金額	率 %		金額	率 %
外装材事業	101,021	108,049	7,028	7.0	108,800	751	0.7
国内 (注1)	90,080	93,521	3,441	3.8	93,800	279	0.3
米国	10,941	14,528	3,587	32.8	15,000	472	3.2
(百万US\$)	( 90.7 )	( 124.7 )	( 34.0 )	( 37.5 )	( 136.4 )	( 11.7 )	( 9.4 )
その他(注2)	10,302	10,166	△ 136	△ 1.3	10,200	34	0.3
合計	111,324	118,215	6,891	6.2	119,000	784	0.7

(注) 1. 国内外装材には、日本からの米国以外への輸出及び中国事業など、少額の海外売上を含む。

2. その他の内訳は、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業。

(2) 市場環境

① 新設住宅着工戸数

(千戸、( )内は前年同期増減率%)

		上期			下期			年間計
		第1四半期	第2四半期	計	第3四半期	第4四半期	計	
新設住宅着工	2015年度	235	236	471	232	217	449	920
		( 7.6 )	( 6.2 )	( 6.9 )	( △ 0.7 )	( 5.5 )	( 2.2 )	( 4.6 )
	2016年度	247	253	500	251	223	474	974
		( 4.9 )	( 7.1 )	( 6.0 )	( 7.9 )	( 3.2 )	( 5.6 )	( 5.8 )
うち一戸建	2015年度	105	109	214	107	97	204	418
		( 0.0 )	( 3.7 )	( 1.9 )	( 1.3 )	( 4.1 )	( 2.6 )	( 2.2 )
	2016年度	109	115	224	112	97	209	433
		( 3.9 )	( 5.4 )	( 4.7 )	( 4.7 )	( 0.4 )	( 2.6 )	( 3.7 )

② 日本窯業外装材協会 窯業系外装材販売数量

(千坪、( )内は前年同期増減率%)

		上期			下期			年間計
		第1四半期	第2四半期	計	第3四半期	第4四半期	計	
業界全体	2015年度	7,478	7,776	15,254	8,365	7,924	16,289	31,543
		( △ 8.7 )	( △ 3.8 )	( △ 6.2 )	( 1.3 )	( 1.5 )	( 1.4 )	( △ 2.4 )
	2016年度	7,700	8,174	15,874	8,645	8,267	16,912	32,786
		( 3.0 )	( 5.1 )	( 4.1 )	( 3.3 )	( 4.3 )	( 3.8 )	( 3.9 )
うち当社	2015年度	3,525	3,735	7,260	4,030	3,898	7,928	15,188
		( △ 1.8 )	( 2.6 )	( 0.4 )	( 7.5 )	( 4.5 )	( 6.0 )	( 3.3 )
当社シェア	47.1%	48.0%	47.6%	48.2%	49.2%	48.7%	48.2%	
	2016年度	3,777	3,969	7,746	4,087	3,954	8,041	15,787
	( 7.2 )	( 6.3 )	( 6.7 )	( 1.4 )	( 1.4 )	( 1.4 )	( 3.9 )	
当社シェア	49.1%	48.6%	48.8%	47.3%	47.8%	47.5%	48.2%	

(注) 販売数量はJIS規格の改正に伴い2009年度よりJIS規格対象外となった12mm厚製品を含む従来基準